

KANAGAWA



社団法人 神奈川県建築士事務所協会

URL <http://www.j-kana.or.jp/>

E-mail info@j-kana.or.jp

2011 年
11 月号

VOL.361



HP情報

- 管理建築士講習の受講に関する重要なお知らせ
- 構造／設備設計一級建築士の定期講習の受講のお知らせ



目次

- | | |
|---|----------------------|
| ① ② 建築探訪 | ⑪ スポーツ大会開催報告 |
| ③ ④ 福島支援ツアーに参加して | ⑫ 支部だより |
| ⑤ 今我々にできることは | ⑬ シリーズ建築Q&A
旅のクイズ |
| ⑥ 会員建築作品紹介 | ⑭ 事務局便り
編集後記 |
| ⑦ ⑧ シリーズ ぶらり街並み散策（平塚） | |
| ⑨ 公益法人制度改革対応専門委員会報告
みらいふれあいフェスティバルを振り返って | |
| ⑩ 理事会報告 | |

被災された単位会の仲間へ全力の応援を !!

「横須賀軍港めぐり」

横須賀支部 小泉 厚



軍港めぐりパンフ

最近、横須賀観光の代名詞と呼ばれ、反響の高い「横須賀軍港めぐり」。

今回、海からのさわやかな秋風を受けながらこのクルーズに参加してみました。

横須賀港は今から150年前、寛永6年（1853年）浦賀沖にアメリカのペリー艦隊の黒船が現れてから、幕府・諸大名は強力な海軍の必要性を感じ、軍艦や船舶の建造及び購入に力を入れました。それに伴い軍艦修理や器具製造の需要が生じ、横須賀製鉄所（横須賀港）の建設が計画されました。この製鉄所の建設を進めたのが、幕末の勘定奉行・小栗上野介忠順らでした。彼らはフランス公使レオン・ロッシュと共に、幕末の重臣たちを説き伏せ、日本の将来のためにこの事業の実現を図りました。幕府は元治元年（1864年）、この事業をロッシュに依頼し、ロッシュはフランス海軍大技士フランソワ・レオンス・ヴェルニー



米軍基地ドッグを見る



外海には異様な形の磁気測定装置

を招き、湾の形に変化があって要害の地であり、風波もなく湾内も広くて深く、また、景色もフランスのツーロン港に似ていることから、この地を製鉄所（横須賀港）の建設地に選んだとされています。

製鉄所の敷地は約24万6千平方メートルで、慶応元年（1865年）建設が開始され、明治維新によって、製鉄所は明治政府に引き継がれましたが、工事は引き続き進められ、横須賀造船所と名前を変えて明治8年（1875年）ころから本格的な軍艦を建造するようになりました。その後も海軍造船所、横須賀海軍工廠と名称を変え、戦艦「陸奥」空母「信濃」をはじめ、数々の軍艦を建造し、ヴェルニーにより明治4年（1871年）に完成した日本最古のドライドックは、100年以上を経た現在でも使用されています。

昭和20年（1945年）以降は米海軍基地となり、世界最強の艦隊、アメリカ第7艦隊の本拠地として位置付けられています。基地内には、住居はもちろん学校や病院、郵便局、映画館、競技場なども備えられており、軍関係者や家族を含め約2万人ほどが生活しています。現在、海上自衛隊との日米地位協定により一部



住友重機造船所 横須賀市制100年を記念して

「よこすか」の文字を1000万円かけて入れてくれました。



緑に覆われた浦郷倉庫地区

地区を共同使用していることから、基地内には海上自衛隊の潜水艦司令部(呉、横須賀のみ)や吾妻島の補給庫等共存した部分が見受けられます。

米軍基地対岸の公園は、明治29年に埋立てによって海軍軍需部が建設された場所で、戦後は市民に解放され臨海公園の名で親しまれました。平成14年には広場を中心に噴水や洋風あずまや、100品種

約2千本のバラを植えた花壇などを設けたフランス庭園様式を取り入れたヴェルニー公園として新たに生まれ変わりました。公園内には、ヴェルニー記念館やガレットが食べられるカフェ

レストランが建てられ、ヴェルニーと小栗上野介の胸像が並んで横須賀港を眺めています。

軍港めぐりの航路は、横須賀本港の汐入栈橋を出発し、右手に米海軍基地を見ながら吾妻島を廻り、よこすかの文字が入った赤い大きなガンドリークレーンが目印の住友重機追浜造船所、出荷を待つ新車が海岸沿いにずらりと並ぶ日産自動車追浜工場、海軍航空隊発祥の地とされ内部には縦横無尽に巨大な海軍豪が張り巡らされた貝山緑地を眺めながら進み、米海軍第7艦隊の倉庫がある浦郷倉庫地



自衛艦隊司令部のある船越地区



長浦港にある民間企業も使用している田浦倉庫群

区、自衛艦隊司令部がある船越地区と長浦港を一回りし、明治時代に横須賀本港と長浦港を結ぶため旧海軍によって掘られた新井掘割水路を通して再び横須賀本港へ戻るというコースです。

新井掘割水路は、明治時代に元々は陸続きの半島を3年の年月をかけて削り取ってできた水路で、陸から切り離された島は吾妻島倉庫

地区と呼ばれ、戦前から島の内部をくりぬいて燃料・弾薬・兵器など危険物の貯蔵庫に使用されてきました。島は上空から詳細が見えないよう常緑樹で覆われています。



長浦湾方向を見る新井掘割水路

水路を抜けると、右手間近に吉倉栈橋に停泊する海上自衛隊護衛艦、その奥にはヴェルニー公園と丹下健三設計のホテルが、左手には米軍第7艦隊の護衛艦や潜水艦が目に入り、横須賀らしい景観を見ることができます。



間近で見れるU.S NAVYのイージス艦

表紙のことは

数年前までは見るができなかった海から見る米軍基地や軍事施設、横須賀の近代化の歴史が45分のクルーズで体験できます。大人1200円小学生600円

神事協・福島支援バスツアーに参加して

川崎支部 恩田 耕爾

10月の21日(金)、22日(土)の二日間にわたるバスツアーが計画実行されました。



早くも始まったバスの中での宴会

総勢70名ほどの参加で1号車は横浜駅天理ビル前から海側の人を、2号車は海老名駅のe-CATから山側の人を乗せるように計画されました。川崎支部は1号車の予定ですが、白井氏、白石氏と小職は小田急線が近いこともあり、2号車への乗車となりました。事務局から頂いた地図を見ながらなかなかたどり着けないところを、白石さんがi-Padを持ちながら場所を探しているところを呼び止められて、何とか時間に間に合いました。

それぞれの場所から出発し、東北道の蓮田SAで合流後、まずははじめの訪問地である会津の「大内宿」に向いました。ここは江戸時代からの藁葺きの民家が街道に面して並んでいて、重要伝統的建造物群保存地区に指定されています。「春は花、秋は紅葉の錦山、東の都



大内宿鳥瞰

大内の里」と高倉宮以仁親王の御詠歌が石碑に彫られています。下野街道に面した宿場街で会津と今市を結ぶ重要な街道でした。

観光と食事を済ませ、次は飯盛山のふもとの「さざえ堂」に向かいます。寛政八年に郁堂和



六角形のさざえ堂最上部

尚が考案立案されたもので、高さ16mの六角形の内部に一方通行の螺旋通路により下から上まで三十三観音(現在観音様は無く絵が飾られている)を拝観できます。一見すると何階建てかわからないですが一応3階建てのようです。素晴らしい建築物でこれも国の重要文化財になっています。「大内宿」、「さざえ堂」共、地震の被害は一見したところ見られませんでした。詳しくは「日事連」7月号・8月号を御覧下さい。

ここで第1日目の観光を終え飯坂温泉の摺上亭大鳥の旅館に向かいました。

東京会5名、千葉会17名共々福島会6名様の出迎えを受け、旅館到着後すぐに研修会が開催されました。福島会の渡辺副会長様から地震の被災と復興のビデオ研修会です。現地での映像は



研修会ビデオ（津波の映像）

生々しく胸に来るものがあります。

宴会は神奈川会の上原会長の挨拶、福島会の田畑会長のお言葉、千葉会の萩原会長の乾杯の音頭で始まり、最後の締めは東京会の西倉副会



福島会との合流会での会長挨拶

長でした。副会長も今回の震災では従兄弟を失ったとのことですが、持ち前の明るさで締められました。また、一人一人に「赤べこ」のお土産と樽酒の差し入れが福島会からあり、感謝です。

宴会は大いに盛り上がりしました。何しろ100名からの団体客が同じ時刻に同じ行動をするので大浴場も洗い場など順番待ちでした。大浴場に至る2階の廊下には福島の生徒の習字が数点ガラスケースに展示されていました。「生命の神秘」3年 高島〇〇。いやはやとても力強く立派な書体には感心されました。どの作品も力作で福島の生徒はお習字がお上手です。

2日目は磐梯吾妻スカイラインを通り、猪苗代湖の湖畔の野口記念館の近くで昼食をとり、有栖川宮威人親王殿下の御別邸である、天鏡閣及び旧高松宮翁島別邸（現、県迎賓館）の見学会が行なわれました。本

館の天鏡閣は2階建て天然スレート葺きのルネッサンス風洋風建築、別邸は藁葺の長屋門の奥に、木造平屋建ての江戸時代の上層貴族住宅、上層武士住宅の姿を伝える書院造りの建築となっています。どちらの御別邸も国の重要文化財に指定されています。東京麻布の有栖川公園も広尾から5分ほどの小高いところにあり、ここ



天鏡閣

も滝とか池とか手付かずの自然が楽しめるところに位置しています。東京のほう是有栖川宮威人親王殿下の生母(森則子)がしばらく住まわれましたが、昭和9年に東京市に賜与されました。

別邸は、有栖川宮威人親王妃慰子殿下ご静養のため建設されたものです。そして天鏡閣は有栖川宮威人親王が湖畔の風景の美しさから、明治



野口英世記念館前での集合写真



福島県迎賓館（旧高松宮翁島別邸）

41年に建設されました。昭和天皇もお泊りになり「なつかしき 猪苗代湖を 眺めつつ 若き日を思ふ 秋のまひるに」とお詠みになられています。別邸の竹の間は床の間に面皮柱、木の肌を剥いだ長押を見せた数奇屋造りの様式となっています。床の間の脇の壁が地震のため大きく崩れています。

この見学を最後にそれぞれのバスで都心を抜けて皆さん帰途につかれました。旅はご自宅の敷居をくぐるまでが旅で、それぞれに明るい電気のもと家族が元気に迎えてくれたと思います。

東北ではその敷居ごと流されてしまった方もおられ心よりお悔やみします。今回の旅は大変綿密に計画され、幹事さんも大変ご苦労されたと推察します。個人的にはバスが浜通りを走ってくれることも期待しましたが…幹事様、福島会はじめ皆さんには感謝しております。

ありがとうございました。

今我々にできることは・・・。

「東日本大震災文化財建造物復旧支援事業に参加して (文化財ドクター派遣事業)」

副会長 芝 京子

先々月号のこのページにて、東日本大震災に関しまして私自身何ができるか、何をしなければならないか、思い悩み、お恥かしながら苦しい胸の内を吐露させていただきました。そのような時、被災した文化財又は歴史的建造物の被災状況調査・応急措置や復旧に関しての意見書とその提出等のできる専門家派遣のお知らせが入ってまいりました。直感的に、これだ！これしかない！すぐ日程調整をし、出発の準備をした事は言うまでもありません。

(構成)

山形大学 永井康雄氏、千葉工業大学 山崎鯛介準教授、宮城県教育委員会 関口氏
神奈川チーム5名、千葉チーム2名、静岡チーム2名

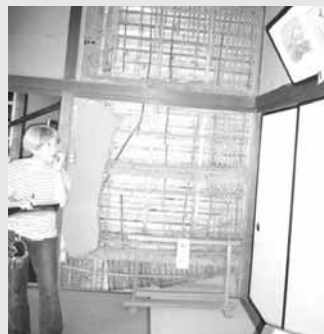
9月24日 宮城県 角田市 角田郷土資料館(旧氏家丈吉邸)国登録文化財
店蔵・母屋・蔵 数棟 建物多数です。



角田郷土資料館



角田郷土資料館内部



9月25日 宮城県 岩沼市

日本基督教団岩沼教会



日本基督教団岩沼教会

石造りで鐘塔部分に大きな被害。修復後に登録文化財にしたい意向。

宮城県 塩釜市 高橋家住宅 国登録文化財

残念ながら取り壊し予定。図面がないため、保存用の実測調査。



日本基督教団岩沼教会内部



岩沼市塩釜市高橋邸

それぞれの建物で、特に塩釜市の高橋家は、塩釜港の近くに位置しておりますので、内部の津波被害をそのまま目の当たりにし、いずれ解体されるという運命を呪いたくなるような気持ちで実測調査をしたという心に残る建物でした。

東日本大震災文化財建造物復旧支援事業(文化財ドクター派遣事業)は、文化庁から(社)日本建築学会に委託され、JIA、建築士会等の当県においては、神奈川県庭園歴史的建造物保全活用推進委員養成講座修了(ヘリテージマネージャー)者が派遣されます。私の場合、大学卒業以来、建築学会の正会員である事も、積極的な参加を促してくれました。

3月11日の出来事は、全てを奪いました。尊い人命・産業・農業・漁業・工業・建物…。奪われただけでなく、悔しい！そして今、日本中が手を取り合って奪われた以上の物を取り返そうとしています。小さな事、小さなことの積み重ねです。

今回、文化財ドクター派遣事業に参加させていただきまして心から感謝いたします。

会員建築作品紹介

「トントン工房」

(就労支援B型施設「トントン工房」地域活動支援センター「ポート」)

横須賀支部 小泉 厚

葉山町役場の脇の花之本公園に隣接した高台に「トントン工房」があります。

この施設は鎌倉に本部があるNPO法人「青い麦の会」が2002年通所型の精神障害者作業所として設立し、葉山の他の場所で「作業所トントン」として運営していました。2006年の障害者自立支援法の施行に伴い、国の政策として小規模作業所を廃止し、一般就労につながる就労施設へと移行する方向が打ち出されました。その結果、現施設では補助金が打ち切られ存続できないことから、障害者自立支援法の法内施設として再整備（移設新築）を行う計画となりました。

2009年夏、数社によるプロポーザルが行われ、ミーズ設計連合協同組合が選ばれ、私が担当となりました。

施設の考え方

就労支援B型施設

心の病から自身を取り戻し、体力をつけて自分の望むステップを見つける。障害があっても自分らしく生きることを支援する。

…主に厨房、作業室の整備

地域活動支援センター

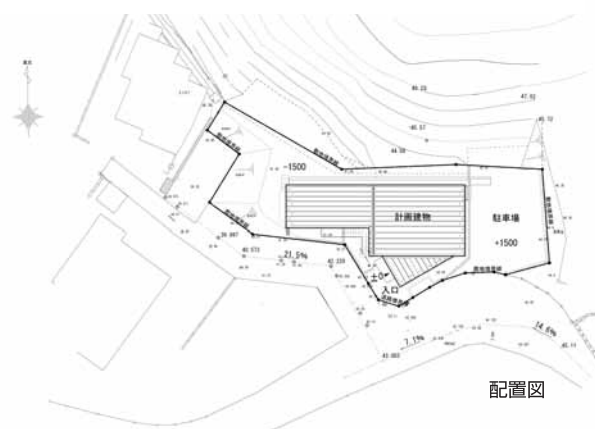
心の病を持つ人が再発を防ぎ安定して生活が出来ることを目指す。安心できる人間関係が作れる場所とする。…交流を持てる空間整備

施設の主な活動内容

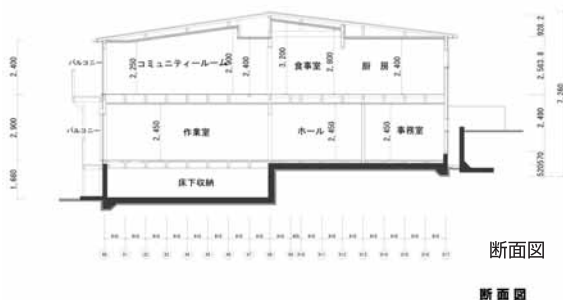
弁当・オードブルの製造販売、機織り等自主製品販売、情報誌等ポスティング、翻訳・ホームページ作成、地域交流（講演会、コンサート等）、プログラム活動（料理、パソコン教室、手芸、園芸等）、受注作業（清掃・ダイレクトメール等）、役所内の売店業務等

建物の考え方

敷地南側道路は勾配7.1%～21.5%、北側は勾配約40°以上の崖地、東西方向は高低差約5m、敷地形状も複雑であるが、この場所の環境・高低差を考慮し、また今後地域とともに育んでいく施設として、だれもが「トントン」とノックして入りやすい地域にとけ込んだ施設を目指しました。木造2階建準耐火構造 157.74㎡ 2010年11月竣工



配置図



断面図

断面図



1階平面図



2階平面図



外 観



敷地高低差を利用して
階段踊り場から駐車場へ



県条例による崖崩落防止壁



広めの玄関ホール

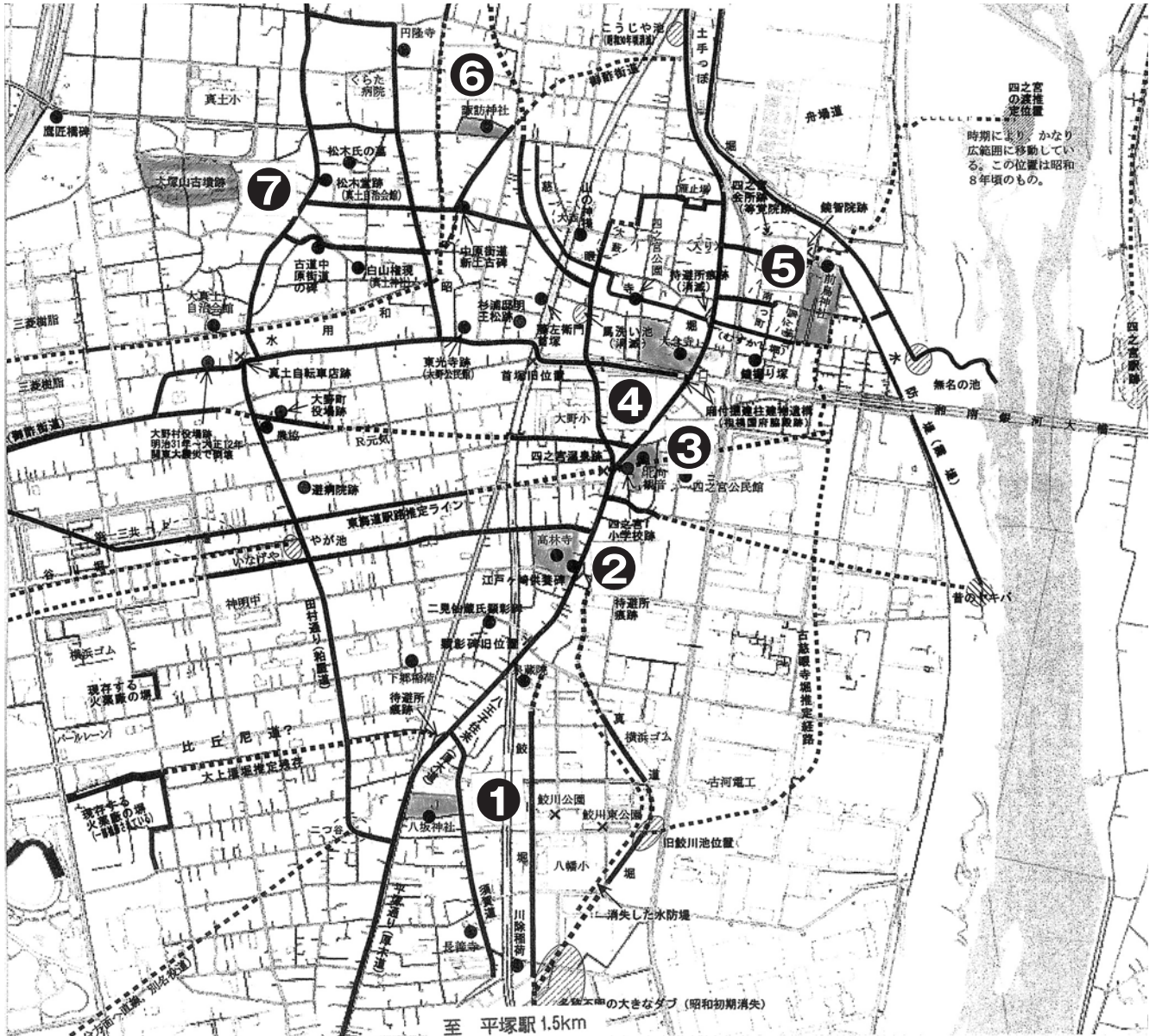
富士山や江の島が見える2階コミュニティールームは会議や交流の場として開放しています。

町並み散策ばらり in 神奈川

～平塚市～

…我が郷土の紹介です。土師器など、掘ると遺跡が多数出土します。

昔からの地名が残っている平塚東部地域の散策です。



- ①八坂神社 ②高林寺 ③北向観音 ④大念寺
- ⑤前鳥神社 ⑥諏訪神社 ⑦大塚山古墳跡



八坂神社/八幡の地名もこの神社由来



北向観音/四之宮・前鳥神社の別当寺『鏡智院』の本尊は、大会寺観音堂(北向観音堂)に安置されている。お寺は北を向いている。



前鳥神社/古くは平安時代の延喜式神名帳にも記載がある。寒川神社(一之宮)から数えて四之宮にあたる。境内には神戸神社、奨学神社もある。



諏訪神社/真土地区の神社。春先に祭りが行われる。



高林寺/寺伝によると嘉慶2年(1388年)の創建と伝えている。境内を発掘すると、奈良から平安時代にかけての遺物が出土。また、江戸時代後期、この地域から出た力士で、無敵『雷電』に黒星をつけた相撲取りが『江戸ヶ崎』。



大念寺/浄土宗のお寺でこの地域の菩提寺。古くは関ヶ原の合戦以前の創建と伝えられている。



大塚山古墳跡/古墳時代の前方後円墳の遺跡で、銅鏡などの遺跡が多数出土している。今は地域の公園となっている。

一般社団法人移行に向けて

～公益法人制度改革対応専門委員会より～

5月の決算総会において会員の皆様に一般社団法人への移行方針のご報告をいたしました。

その後も、公益法人制度改革対応専門委員会では平成25年4月の一般社団法人移行を目指し、移行認可申請のための準備を進めてまいりました。現在の進行状況といたしましては、9月から10月にかけて本部と支部の会計一本化へ向けた説明会を開催し、支部幹部の皆様に本部へのご協力を改めてお願いしたところでございます。

今後の予定といたしましては、定款改正が控えております。7月から8月にかけてホームページ(会員ページ)に「改正定款(素案)」を掲載し意見募集を行った後、今日まで管轄

行政庁である神奈川県との調整を行い、この度、当委員会で「改正定款(案)」としてまとめました。前回と同様にホームページ(会員ページ)に掲載いたしますので、ご確認頂ければと存じます。またホームページをご覧にならない方は事務局にて閲覧して頂けます。

また、12月2日には定款改正等を議題とした臨時総会の開催を予定しております。定款改正には、総会員数の3分の2以上の承認が必要となりますので、多数の皆様のご出席をお願いいたします。

一般社団法人移行認可申請に向けて、今後も検討と準備を進めてまいりますので、会員の皆様のご協力を重ねてお願い申し上げます。

みらいふれあいフェスティバル2011を振り返って

9

神事協・賛助会 会長 太田 清一郎

全体として、本会の皆様方とある意味では初めての協業でしたが、しっかりと協業できて良かったと思います。ありがとうございました！

棕副会長の発案で神事協を市民の方々に知って頂く展示会をとのコンセプトで準備を行ってきましたが、短い期間内の準備・開催は成功だったと思われま

す。イベント、展示、セミナー、広報の各部会毎の協議も行われ、連携が取れた事も大きな成果だったと感じました。

課題は、10月13日に行われた振り返りで皆様方も述べられていた様に、準備期間が短かった事もあって市民へのPRが充分でなかったのではないのでしょうか。

次回の開催に向けて、神事協について市民は何を求めて

いるのか？市民の視線に立って次回の開催・コンセプトを検討する必要がある課題ではないでしょうか。

上原会長始め副会長・各部会のメンバー諸兄に感謝すると共に、最後に会場の交渉にあたってくれた、野口さんありがとうございました！



社団法人神奈川県建築士事務所協会 平成23・24年度 第3回・理事会概要

日 時：平成23年10月13日(木)14:00～17:00

会 場：波止場会館 5階 多目的ホール

出席者：22名

- ・会長挨拶 上原会長
- ・定足数の確認を行い、理事25名中19名出席のため定款第32条により会議成立を報告
- ・議事録署名人として三杉専務理事・根岸理事を選出
- ・定款第31条により上原会長が議長となり議事を行う

1. 議決事項

(報告事項)

第1号報告 会員(9月)の入退会承認についての報告

続いて、賛助会員2社の退会と共済会友1名の退会を報告

第2号報告 東日本大震災義援金についての報告

10月13日時点で、2,065,427円の義援金が集まったことを報告

第3号報告 平成23年度年次功労者表彰受賞者の決定についての報告

第4号報告 第36回建築士事務所全国大会・50周年記念事業特別委員会委員の推薦についての報告

第5号報告 (財)神奈川県建築安全協会からの功労金及び感謝状の贈呈についての報告

第6号報告 後援名義使用(2件)についての報告

第7号報告 建築士事務所登録(9月)についての報告

(審議事項)

第1号議案 正会員(10月)の入会について承認を求める件

続いて1名の退会を報告

入会4名、退会1名にて会員数は781名

続いて、賛助会の入会希望者、

退会のなかったことを報告。

入会、退会なしにて会員数は71社

第2号議案 平成24年度予算方針について承認を求める件

第3号議案 臨時総会提出議案について承認を求める件

報告事項

(1) 日事連報告

- 1) 第126回関東甲信越ブロック会議の概要について
- 2) 前田武志国土交通大臣を訪問したことについて。

(2) 各委員会報告

- 1) 総財務委員会 (9/1、10/7)
- 2) 技術調査委員会 (8/18、9/15)
- 3) 企画業務委員会 (8/19、9/16)
- 4) 広報情報委員会 (8/29、10/4)
- 5) ブロック支部委員会 (8/23、9/27)
- 6) 設計監理指導委員会 (8/3、10/5)
- 7) 耐震診断業務特別委員会 (開催なし)
- 8) 建築物耐震改修評価特別委員会(9/15)
- 9) 「住・緑・家」運営特別委員会(開催なし)
- 10) 木造特別委員会 (9/22)
- 11) 景観まちづくり特別委員会(8/22、9/22)
- 12) 家づくりセカンドオピニオン特別委員会 (9/12)
- 13) 委員長会 (開催なし)
- 14) 支部長会 (9/7)
- 15) 公益法人制度改革対応特別委員会 (8/11、8/31、9/13)

(3) その他

- 1) 三浦都市計画高度地区の指定について
- 2) かながわ環境整備センター産業廃棄物最終処分場の利用について
- 3) 県西地域における出先機関の再編について
- 4) 新たな支援について
- 5) 行事日程等について

※詳細は当協会ホームページをご覧ください。

秋のスポーツ大会「オリエンテーリングⅠN秦野」 中ブロック実行委員会

10月15日(土)雨降る朝9時、秦野鶴巻温泉駅前広場には各支部からエントリーされた17チーム(横浜、川崎A・B、横須賀A・B・C・D、相模原、座間、愛川、湘南、県西、事務局A・B、中ブロックA・B・C)総勢57名の選手に集まっていただきました。

神奈川県オリエンテーリング協会の指導・協力を受け、公式コースの一部を2分間隔でスタート。地図とコンパスを頼りに5つのチェックポイントを見つけ、弘法山・綿羊の里ゴールまで1秒でも早くたどり着いたチームが勝ちの競技です。

振興住宅地を抜け、地元の人にも通らないぬかるみの山道、「熊出没注意」の看板を横目にチームメイトが助け合って自然にたち向い共にゴールする。優勝したのは横浜支部チーム(平山・佐藤恵・佐藤光・根岸)。準優勝の県西チーム(芝・諏訪部・赤川)。3位の横須賀Dチーム(玉田・杉下・田中)。全員でゴールできた最下位の敢闘賞は横須賀Bチーム(安田・小菅・寺坂・加藤)でした。ゴール時に振ったサイコロの目がハンディーポイントとなり順位を左右したようでした。

全チームがゴールした正午には秦野の街や、丹沢山系・富士山の一部が見えるほど澄みきった青空の景色を堪能

していただくことができました。

その後、順次チャーターバスで「万葉の湯」につき汗と疲れを癒していただき表彰式。和気藹々の懇親会、皆さんから「よかったよ」のねぎらいの言葉が担当実行委員への最高の表彰状でした。中ブロックでは半年以上前から実行委員会を立ち上げ、恒例となった「秋のスポーツ大会」をできるだけ多くの人に参加していただく。単なるレクリエーションではなく建築士事務所に携わる者として何かを感じていただく体験学習がメインテーマでした。

大自然の前では無力であることをまざまざと知らされた今年。

改めて自然と向き合い、何が必要とされているか、何を忘れていたかを問う。市街地に接する山里を観察してその実態を知っていただくことでした。真夏に10ポイントのコースを歩き下見をおこない、当日の悪天候を想定・安全確保の対策・参加者に見合った当日のコース変更対策・不足の事態に対する対応と準備、総勢22名のスタッフにより万全の布陣で臨みました。体調不良によりリタイヤした2チームを救助。幸い遭難者・けが人を出すこともなく無事全員が温泉につかって楽しんでいただけました。

毎年の恒例となった「秋のスポーツ大会」ではありますが、主催担当役員をはじめ、競技当日協力をいただいた中ブロック会員の皆さん、競技参加者集めに翻弄していただいた各支部の役員さんにお礼申し上げます。

来年は県西支部の主催です。伝統を引きついでください。バトンは渡しました。

●広報情報委員会からのお知らせ…「年男・年女の初夢」ご寄稿ください!!●

このたび、広報情報委員会では、本会会誌「KANAGAWA」平成24年新春1月号に「年男・年女の初夢 ～辰年生まれの新年の抱負～」と題した特集記事の掲載を企画いたしました。

つきましては、当記事への寄稿について下記のとおり募集をいたします。

【掲載概要】

*掲載号：平成24年新春1月号

*掲載内容：文字数150字程度、顔写真(新年を迎えての希望・抱負など、その他年男・年女にちなんだ話題など)

*掲載対象の方：昭和3年生、昭和15年生、昭和27年生、昭和39年生、昭和51年生の方々

【応募方法】

掲載をご希望の方は、**11月15日(火)**までに神事協事務局(担当：野口)宛てまでご連絡をお願いいたします。

(ご連絡先：TEL045-228-0755 E-mail：noguchi@j-kana.or.jp)

ご寄稿要領に関して改めてご案内させていただきます。

……皆様からのご応募お待ちしております。

支部だより 平成23年度合同研修会 開催報告

相模原支部 麻生 啓一

毎年恒例となりました、弁護士会と神事協の合同研修会・平成23年度合同研修会（横浜弁護士会相模原支部・神事協相模原支部・神事協県央ブロック）を先日10月3日（月）に小田急相模原駅ビルの「おださがプラザ」にて行いました。

まずは当支部の相模原支部支部長の西倉支部長のご挨拶よりはじまり、神奈川県建築事務所協会 椋茂廣副会長の講師による説明で、『机の隅に』を基に研修会を開催致しました。

内容はⅠ.お客様との契約内容についてこれだけはと、ワンポイントアドバイスなどの研修、Ⅱ.建築関係の民法・消費者契約法について、Ⅲ.建築



基準法・関係法令・法令チェックリスト、Ⅳ.建築士の責任では建築士の懲戒処分

の基準や実際の事例を基にご説明、Ⅴ.質疑等では皆様真剣そのもので、弁護士会さんより分かりやすく指導して頂き、これからの設計業務にと

ても為になる講義でした。尚、研修会の後 同館内（やまと）にて懇親会を行い弁護士会の皆様とのより交流をより深める場とし盛大な宴となり、今後の互いの業務に協力し合え、信頼しあえる絆の会となりました。



12

会員の広場 国土交通省第23回 住生活月間功労者・住宅局長表彰

この度、横須賀支部（株）長森建設一級建築士事務所 長森延久様が国土交通省第23回住生活月間功労者・住宅局長表彰を受賞され、10月10日（月）、徳島グランヴィリオホテル（徳島県徳島市）にて表彰式が行われました。

功績内容は多年にわたり建築事業に従事するとともに、一般社団法人工務店サポートセンター防耐火委員会委員長として、木造住宅の普及促進に寄与してきました。



表彰式の様子

建築Q&A

「JWWCADでの操作方法」 vol.4

Q：JWWCADのクロックメニューとは？

A：クロックメニューとは、マウス操作によって各種コマンドを呼び出す操作方法のことです。

概要は、JWWCADの[ヘルプ]-[トピックの検索]で出てきますので参照して下さい。

詳細は、インターネットのWeb等で、「JWW クロック」で検索すると詳しいページがヒットしますので参考にして下さい。

CADの操作時にコマンド選択等で視点が移動すると、思考が中断されます。視点の移動を極力少なくしたいものです。クロックメニューは沢山あり殆どの操作は可能ですが、マウスを動かして探すようではコマンドボタンを押した方が楽です。クロックメニューの全てを覚える必

要は無く、探さないで使える操作を幾つか覚えることで作業性が上がります。

覚えておくと楽になると思われる操作の一部を紹介します。

[左AM8時](伸縮)…マウスの左ボタンを押しながら時計の8時方向に動かす

[左AM3時](包絡)…マウスの左ボタンを押しながら時計の3時方向に動かす

[右AM10時](消去)…マウスの右ボタンを押しながら時計の10時方向に動かす

これらは、別のコマンド実行中に、コマンドを切り替えなくて操作できるので便利です。

なお、ドラッグで先に出るのがAMで、開始位置に戻り(キャンセル)続けてボタンを押したまま再度ドラッグするとPMになり別のコマンドが設定されています。

([設定]-[基本設定]-[AUTO]を参照して下さい。)

(作成：木造特別委員会)

13

問題 旅のクイズ 第16回

山梨県に有るこの五重塔は、どこのお寺に建つものでしょうか。

ヒント

この五重塔は江戸時代初期の元和5年(1619年)建立され、平成20年10月、約130年ぶりに復元されました。

答えをメールまたはFAXにて神事協事務局までお寄せ下さい。正解者の中から抽選で御一人に1000円の図書券を差し上げます。

(FAX：045-212-3807)

E-mail：noguchi@j-kana.or.jp)

※締め切り：平成23年11月18(金)

当選者は12月号にて発表予定です。

※広報情報委員と事務局員及び家族の方のご応募はご遠慮ください。

前回(10月号)の正解は下記の通りです。

正解：横浜市磯子区にある「栗木神社」です。

当選者：賛助会 日本ERI(株)横浜支店
小垣外様



会員異動報告		
入会		
横浜支部		
一級建築士事務所リペアテック建築研究所	稲垣 禎信	
〒227-0034 横浜市青葉区桂台2-2-12-103		
TEL.045-507-3350 FAX.045-507-3351		
(株)クレア建築士事務所		
〒224-0041 横浜市都筑区仲町台2-1-25	志村 孝次	
TEL.045-949-1615 FAX.045-949-1669		
横須賀支部		
加藤一級建築設計事務所	加藤 清	
〒240-0112 三浦郡葉山町堀内1074		
TEL.046-876-0507 FAX.046-876-0507		
平塚支部		
シンキプランニング一級建築士事務所	新木 秀和	
〒259-1117 伊勢原市東成瀬48-7 エクセル伊勢原205		
TEL.0463-92-2225 FAX.0463-92-2373		
退会		
愛川支部		
上出ストラクチャー・デザイン	上出美智雄	
相模原支部		
(株)千葉技工一級建築士事務所	千葉 和則	
変更		
横浜支部		
共立設計(株) (中地区)		
(所在地変更)		
〒231-0032 横浜市中区不老町2-8 不二ビル6F		
(株)耐震防災 (青葉地区)		
(所在地、TEL、FAX変更)		
〒220-0023 横浜西区平沼1-14-20-101		
TEL045-620-3410 FAX045-322-3805		
相模原支部		
(有)創夢設計		
(会員名変更)	伊佐 俊彦	
久野建設(株)一級建築士事務所		
(会員名、所在地変更)	久野 孝広	
〒252-0124 相模原市中央区田名2085		

会 勢		平成23年11月1日現在				
支部名	平成23年3月末日	現在	入会者	退会者	増減	
横 浜	270	274	10	6	4	
川 崎	91	95	7	3	4	
横 須 賀	55	52	1	4	-3	
湘南三浦	21	18	0	3	-3	
藤 沢	22	23	1	0	1	
鎌 倉	32	34	3	1	2	
茅ヶ崎葉川	16	17	1	0	1	
平 塚	21	23	2	0	2	
伊 勢 原	8	8	0	0	0	
秦 野	18	18	0	0	0	
大和綾瀬	22	20	0	2	-2	
厚 木	37	36	1	2	-1	
座 間	13	13	0	0	0	
海 老 名	13	14	1	0	1	
愛 川	9	7	0	2	-2	
相 模 原	88	83	1	6	-5	
県 西	49	46	1	4	-3	
合 計	785	781	29	33	-4	
賛助会員	68	71	10	7	3	

11月の行事予定	
11月1日	公益法人制度改革対応専門委員会
2日	既存住宅の省エネルギー改修講習会 (会場:横浜市技能文化会館2F多目的ホール)
7日	支部長会
8日	賛助会事業計画検討会
9日	設計監理指導委員会 JW-CAD(初級編)研修会1日目 (会場:県立東部総合職業技術校)
10日	総財務委員会 技術調査委員会
14日	管理建築士講習 (会場:パシフィコ横浜アネックスホール)
15日	家づくりセカンドオピニオン特別委員会
16日	JW-CAD(初級編)研修会2日目 (会場:県立東部総合職業技術校)
17日	正副会長会 委員長会
18日	企画業務委員会
24日	本造特別委員会 景観・まちづくり特別委員会
25日	「住・緑・家」運営特別委員会
29日	ブロック支部委員会

編集後記 本会広報情報委員も3年目になりました。新委員さんも加わり、新しい意見や考えが出て、構成にも熱が入る委員会になっています。

今回の地震により耐震診断の件数が増えてきました。建物の調査に行くと、築30年、40年経った建物の歴史や重み、また、住居者の家に対する愛着を感じます。この家を長持ちさせてあげ、長く住めるように耐震改修したいと思います。

(海老名支部 杉崎 雅治)

かながわ 平成23年11月号 (通号361号)

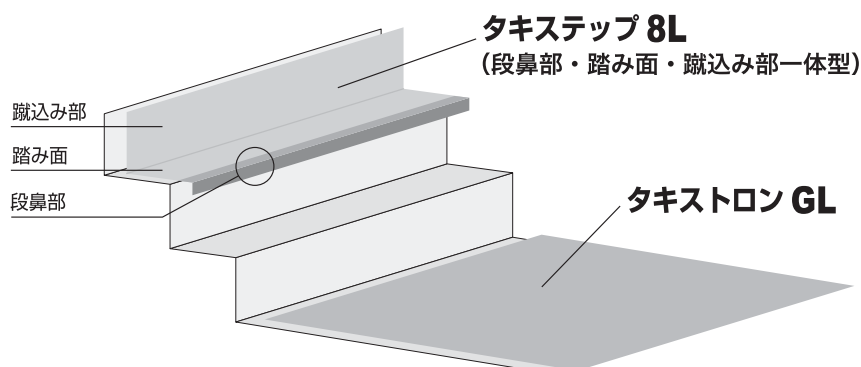
発行 平成23年11月1日 (毎月1日発行)
発行人 上原 伸一
発行所 社団法人 神奈川県建築士事務所協会
〒231-0032 横浜市中区不老町3-12
第3不二ビル2F
TEL. 045-228-0755
FAX. 045-212-3807
印刷所 株式会社 柏苑社

担 当 副 会 長 芝 京子
: 佐藤 光良
: 広報情報委員長 内藤 隆之
: 広報情報副委員長 稲葉 勉
: 広 報 情 報 委 員 北野 義夫
: 杉崎 雅治
: 竹尾 秀一
: 野口 友弘
事 務 局 恩田 耕爾
小泉 厚
高橋 保博
新倉 良一
坂本 歩美

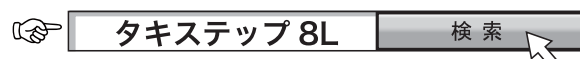
学校・屋内施設専用【新製品】

遮音・防滑性階段用床材 **タキステップ® 8L**

防滑性ビニル床シート **タキストロン® GL**



製品の詳細は



タキロンマテックス株式会社

東京支店 TEL.03-5781-8150



メンテナンス性を考え、タキステップには、防滑性が必要な部分のみをエンボス加工いたしました。また、段鼻部と踏み面の段差を軽減し、つまづきにくい構造にいたしました。



臭いの少ない製品ですので、屋内に安心してご使用いただけます。